

◎あとかぎ

4月は新学期、新入生・新入職員、入学式・入社式の季節です。日本(人)にとって4月は「新しく何かが始まる」特別な月です。しかし、これが近い将来変わるかもしれません。米国の新学期は、かつてはLabor day(9月の第1月曜日)の翌日から始まることが多かったのですが、今では8月後半のことが多く、一部の私立では9月下旬～10月初旬にしています。そこで最近、日本でも世界基準(グローバルスタンダード：良きにつけ悪しきにつけ日本人はこの言葉が好き)に合わせて9月(秋)入学を模索する動きがあります。東大や京大を中心にして5年後をめどに検討が始められました。

これらの動きは、海外の優秀な人材が日本の大学に入学しなくなった、海外への日本人留学生が減少した、などなどの問題提起がありその対応の一つなのでしょう。しかし、日本では欧米(今では韓国や中国などにも)に比べて専門教育を体系的に施すカリキュラムが構築されていない、受験勉強では身につかない論理的思考力などの教育水準の底上げが必要なのも事実です。センター入試のMCQでは身につかない自問問題(課題)を発見・抽出し、解決する能力を伸ばす問題解決型学習が必要なのです。受験テクニックではダメなのです。

4月号をお届けします。今月号も読みごたえのある内容です。個人的には、「技術講座」の「クオンティフェロン®(QFT)」と「Laboratory Practice」の「異常値の原因と発見の糸口」を興味深く読みました。QFTは結核の診断指標としてツベルクリン反応に代わるべく開発された検査法です。その診断的有用性と測定誤差は正確に知る必要があります。また、検査に特化した異常値は日常検査でもしばしば認められ、それを発見して原因究明することが大切です。

医師や看護師は臨床検査成績を利用して、診療・看護をします。われわれはその検査成績(情報)を作っています。新しく開発された検査のビットフォール、患者の状態を反映しない検査データの発見とその原因究明、そして診療・看護に生かす方法の検討はわれわれに課せられた仕事です。「チーム医療」、「多職種連携」が叫ばれています。今こそ『検査と技術』を端から端まで熟読して、これらの一員となるべく研鑽をしようではありませんか。

櫻咲く、このときに決意も新たに頑張りますよ。
(高木 康)

◎5月号予告 第40巻5号(2012年5月号)

病気のはなし

急性虫垂炎 ————— 加藤英治

技術講座

統計：ROC分析 ————— 三宅一徳

生理：携帯型心電計の有用性 ————— 小沢友紀雄

生理：シリーズ 乳房超音波検査・5 病変の超音

波像：腫瘍②浸潤・中間型腫瘍 ————— 松元香緒里

疾患と検査値の推移

脾臓癌 ————— 今村綱男、他

オピニオン

日本臨床細胞学会の目指すもの ————— 佐々木寛

ワンポイントアドバイス

尿酸塩結晶の標本作製に水は禁物 — 手嶋優子、他

今月の表紙

左副腎の骨髄脂肪腫 ————— 手嶋伸一、他

Laboratory Practice

免疫血清：CD 34 陽性細胞の測定システム

————— 國友由紀子、他

生化学：ABC 検診 ————— 河合 隆、他

一般：一般検査検体でみられたヘマトイジン結晶

とその意義 ————— 弓狩加恵、他

輸血：安全な輸血実施のために一日赤血液センター

の体制③血液センターにおける非溶血性輸血副

作用検査 ————— 福森泰雄

移植医療：移植医療と検査⑨造血幹細胞移植支援

での幹細胞評価について ————— 国分寺晃

臨床医からの質問に答える

マラソンなどの激しい運動でトロポニンが陽性に

なるのはなぜですか? ————— 石橋祐記

検査値を読むトレーニング 信州大学 R-CPC

第5回 嘔吐と発熱にて入院した70代女性

————— 本田孝行、他

今月の表紙/ラボクイズ/臨床検査のビットフォール/

トピックス/けんさ外国語会話/Coffee Break/他

◎ラボクイズ正解者

第40巻2号(2012年2月号)

赤羽貴行(安曇野市)/井上郁美(大仙市)/

大沼佳恵(登米市)/川野かほる(宗像市)/

近藤直美(岐阜市)/紺野加世子(福島市)/

佐々木純子(東京都江東区)/千野秀教(東

京都文京区)/土居君子(塩釜市)/中村加

奈子(下松市)/花田妙子(函館市)/平塚香

織(児湯郡都農町)/布沢りょうこ(所沢

市)/古田治(加茂郡白川町)/堀川市郎(あ

わら市)/安江智美(羽曳野市)/山口剛(木

更津市)/吉田のぞみ(さいたま市)

◎編集委員

菅野 治重

(編集主幹)

伊瀬 恵子

曾根 伸治

高木 康

種村 正

手嶋 伸一

矢富 裕

(五十音順)

検査と技術

2012年4月1日発行(毎月1日発行)

定価 1,575 円(本体 1,500 円+税 5%)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

☎113-8719

東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通(03)3817-5713

ファクシミリ (03)3815-7802/(03)3815-7982

E-mail kensa@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/kensa/

販売部直通 (03)3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印刷 ㈱アイワード (011)241-9341

広告取扱 ㈱東 広 社 (03)3409-8803

Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2012, Printed in Japan.

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は㈱医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】(㈱)出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(㈱)出版者著作権管理機構

(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

医学書院ホームページ(インターネット)はhttp://www.igaku-shoin.co.jpです。

(担当 山本・井上・能藤)